

◆ 活動予定① ◆

茨城大学・茨城県・茨城産業会議 3者連携講演会
「茨城における温暖化対策の見通しー猛暑の夏を経験して」

日時：2010年11月17日(水) 13:00～16:00
場所：水戸三の丸ホテル
対象：どなたでも参加可(予約不要・入場無料)

プログラム

13:00～13:10 開会挨拶
13:10～15:20 講演
及川義教(気象庁地球環境・海洋調査部・調査官)
加藤亮(茨城大学農学部・准教授)
大和田順子(ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表/NPO
法人環境立国・理事)
(順不同・敬称略)

15:20～16:00 パネル討論
「茨城における低炭素社会の取り組み」
16:00 閉会

お問い合わせ ICAS 本部
TEL/FAX 029-228-8787
E-mail icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆ 活動予定② ◆

ICAS 教育シンポジウム(ELIAS)
大学院教育を再考する
～フィールド演習の実践から見る教育の理念～

日時：2010年11月24日(水) 13:30～17:00
場所：水戸キャンパス・理学部 K棟 1階インタビュースタジオ

＜プログラム＞

13:30 開会の挨拶 三村信男(ICAS 機関長)
13:45～ 基調講演「大学教育への時代的要請と実践演習の役割」
中川光弘(茨城大学農学部・教授)
14:15～ 各大学における実践演習の取り組み
田村誠(茨城大学 ICAS・准教授)
加藤亮(茨城大学農学部・准教授)
橋浦洋志(茨城大学教育学部・教授)
小貴元治(東京大学新領域創成科学研究科特任准教授)
大槻知史(高知大学総合教育センター・准教授)
(順不同・敬称略)

16:25～ パネルディスカッション
「各実践の教育理念とその効果について」

総合司会 上柿崇英
(茨城大学サステイナビリティ学教育コーディネーター)

2010年度 ICAS カレンダー

4月	新年度スタート 4/12 第1回 ICAS セミナー 4/19 第2回 ICAS セミナー	10月	10/4 第12回 ICAS セミナー 10/5 第1回環境省(S-8-3)インフォーマル・セミナー 10/18 第13回 ICAS セミナー 10/30 第1回「サステイナビリティ学最前線」(大学院)
5月	5/10 第3回 ICAS セミナー 5/24 第4回 ICAS セミナー 5/28 ICAS キック・オフ・ミーティング	11月	11/1 第14回 ICAS セミナー 11/2 第2回環境省(S-8-3)インフォーマル・セミナー 11/6-7 日本平和学会秋期研究集会(ICAS 共催) 11/6 第2回「サステイナビリティ学最前線」(大学院) 11/13 第3回「サステイナビリティ学最前線」(大学院) 11/15 第15回 ICAS セミナー 11/17 3者連携シンポジウム(三の丸ホテル) 11/24 ICAS 教育シンポジウム(ELIAS)
6月	6/7 第5回 ICAS セミナー 6/12 第1回「サステイナビリティ学入門」(学部) 6/21 第6回 ICAS セミナー 6/23-25 ICSS-Rome(ローマ) 6/26 第2回「サステイナビリティ学入門」(学部) 6/28 W-BRIDGE 最終報告セミナー 6/29-7/1 オーストラリア適応会議	12月	12/6 第2部門国際シンポジウム UNU アジア適応教育シンポジウム ICSS-Asia(ハノイ) 第1部門ワークショップ ICAS セミナー
7月	7/5 第7回 ICAS セミナー 7/10 第3回「サステイナビリティ学入門」(学部) 7/20 第8回 ICAS セミナー 7/23 グリーン・イノベーション・シンポジウム 7/27-30 ベトナム国家大学・集中講義(ハノイ)	1月	1/11-14 IPCC・WG II 会合(つくば) 1/17 環境省(S-8)国際シンポジウム ICAS セミナー
8月	8/2 第9回 ICAS セミナー 8/22-28 Cities at Risk ワークショップ(バンコク) 8/21-29 国際実践教育演習(ブーケット)	2月	ICAS セミナー
9月	9/6 第10回 ICAS セミナー 9/13-15 国内教育実践演習(大洗) 9/14-15 ソウル大学ジョイントセミナー 9/21 第11回 ICAS セミナー	3月	第4回学生サステナ・フォーラム ICAS セミナー

*網掛けは ICAS が主催する企画です ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆ソウル大学とのジョイントセミナーを開催◆

2010年9月14日(火)に、茨城大学工学部都市システム工学科 S2棟2階208-209号室において、Junboun Park 教授(Seoul National University)と研究室の学生9名をお招きし、ジョイントセミナーを開催しました。このセミナーの主題は「アジア地域の特性に着目した気候変動に対する地盤工学的適応」として、実行委員長である小峯秀雄教授(茨城大学工学部)、Junboun Park 教授(Seoul National University)、安原一哉名誉教授(茨城大学 ICAS)の特別講演が行われました。また Seoul National University と茨城大学からそれぞれ4名ずつの学生が研究発表を行い、活発な議論と濃密な学術交流が行われました。



Opening Address (小峯教授)



Junboun Park 教授の講演

翌9月15日(水)は、現場視察として産業廃棄物最終処分場(エコフロンティアかさま)と日本原子力研究開発機構(JAEA)を訪問し、持続可能な廃棄物処分技術の最先端に触れました。



参加者集合写真



現場視察での集合写真

◆ 第1回 S-8-3 インフォーマル・セミナーの開催 ◆

「S-8」とは、環境省環境研究推進費戦略研究 S-8「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の略称です。ICAS においては、サブテーマ S-8-3(通称国際班/代表者:安原一哉先生)を担当しています。2010年10月5日(火)に第1回目の会合として、学外の方も含めたインフォーマル・セミナーが開催されました。

気候変動に対する適応策に関して、途上国への開発援助や国際交渉という視点から、藤森真理子氏(パシフィックコンサルタンツ)と久保田泉氏(国立環境研究所)より報告が行われました。その後のフリーディスカッションでは、研究面や実務面などの様々な視点から適応策の現状や課題が議論されました。その結果、適応策の評価方法の確立や途上国でのデータ・情報不足などが課題として指摘された他、適応策と緩和策の連携の必要性などが主張されました。

今回のインフォーマル・セミナーによる率直な意見交換を通して、S-8 における国際班の使命や方向性が確認され、実りあるセミナーとなりました。すでに第2回インフォーマル・セミナーが11月2日(火)に企画されています。関心のある方はお気軽に ICAS 本部までお問い合わせ下さい。



◆ 長谷川研究員卒業 ◆

2008年4月より ICAS 研究員として活躍されてきた長谷川良二研究員が10月末をもって ICAS を退職されることとなりました。

在任中は専門である経済学のなかでも、産業連関分析をベースとして ICAS 第三部門に関する研究に加え、W-BRIDGE を中心とした地域サステナ活動にも力を入れていらっしゃいました。また、今年に入ってから ICASNEWS の編集長としても活躍されました。

ICAS にてグリーンカーテンを作った際も、水やりや手入れを率先してされ、人にも植物にもとても優しい方でした。

新天地での更なるご活躍を ICAS メンバー一同お祈りしています。



城里町エコグリーンショップ響

にて、美女の皆さんと

ICAS 本部メンバーの皆さんと



ICAS on MEDIA

『茨城大学発 持続可能な世界へ』がついに刊行!

ICAS が中心となり約2年に渡り執筆を続けてきた、茨城新聞での連載記事「茨城大学発 持続可能な世界へ」が、ついに刊行されました! 学内外から48名の執筆者が寄稿している充実した内容の書籍となり、大学生協はもちろん、茨城県内の本屋で販売されている他、茨城新聞社ホームページ(<http://www.ibaraki-np.co.jp/books/genre1.php>)からでも購入が可能です。サステナビリティを知りたい方はぜひご一読を!

茨城大学 ICAS 編(2010)

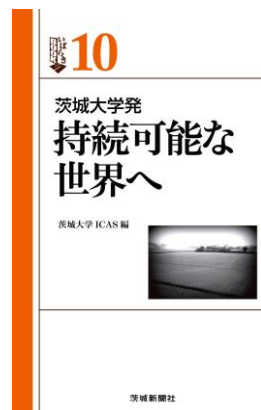
「茨城大学発 持続可能な世界へ」

茨城新聞社.

2010年10月10日出版.

定価: 1000円(952円+税).

ISBN978-4-87273-257-3



Editor's Note

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・。

秋は色々なことが活発になる季節ですが、ICAS では「サステナの秋」です。秋はシンポジウムや集中講義などの行事が目白押しなので、サステナビリティについて考える季節になれば幸いです。

次号からは編集者が変わります。ICAS News のイメージがあるかも知れません。(R. H.)